

岡山  
くりにん

No.66  
2023.1



処分から資源に

資源循環を考える

ネクストステージ



**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

3 GOOD HEALTH AND WELL-BEING	4 QUALITY EDUCATION	5 GENDER EQUALITY	7 AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY	8 DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH	11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES	12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION
---------------------------------	------------------------	----------------------	----------------------------------	--------------------------------------	--	--

株式会社高谷建設は事業活動を通じ「SDGs(持続可能な開発目標)」に取り組み、経済 社会 環境のバランスのとれた社会の実現を目指します。

株式会社 高谷建設

〒711-0936

岡山県倉敷市児島柳田町 2326-4

TEL : 086-473-3624 FAX : 086-472-6273



[www.takatani.jp](http://www.takatani.jp)

◆年頭あいさつ◆

- 岡山県産業資源循環協会として迎える設立30周年の年  
一般社団法人岡山県産業廃棄物協会 会長 大塚 雅司 2
- さらに持続可能な循環型社会に向かって 岡山県環境文化部 部長 佐藤 将男 3
- 自然環境と調和した豊かな暮らしを将来世代に引き継ぐことを目指して 岡山市環境局 局長 國米 哲司 4
- 持続可能な循環型社会の構築に向けて 倉敷市環境リサイクル局 局長 佐藤 慶一 5
- 年頭のご挨拶 公益社団法人全国産業資源循環連合会 会長 永井 良一 6

◆特集◆

- 岡山県産業廃棄物協会青年部会 20周年記念式典・講演会・祝賀会 7

◆行政NEWS◆

- 産廃の違法運搬を食い止める！ 12
- 大気汚染防止法の改正 13
- プラスチック資源・金属資源等のバリューチェーン 脱炭素化のための高度化設備導入促進事業 14

◆事業報告◆

- 令和4年度岡山県災害廃棄物仮置場設置訓練 15
- 令和4年度宿泊視察研修会レポート 20

◆支部ニュース◆

- 岡山西支部・岡山中央支部合同貝殻山クリーン作戦 22
- 倉敷支部 第26回倉敷地域環境クリーン作戦 23
- 倉敷南支部 環境クリーン作戦 24
- 井笠支部 矢掛町環境クリーン作戦 25
- 備北支部 新見地域環境クリーン作戦 26
- 津山支部 第26回津山支部環境クリーン作戦 27

◆趣味のコーナー◆

- ～風景画～ 岡山東支部 榊石原工務店 石原 孝 28

◆会員紹介コーナー◆

- 岡山西支部 株式会社インテックス 29
- 岡山中央支部 有限会社 吉美、有限会社 吉備環境設備 30

◆事務局だより◆

- 新入会員の紹介コーナー／協会名称が変わります！ 31
- お知らせコーナー 落下物を見つけた際の通報方法をご存じですか？ 32
- 表紙写真ガイド／編集後記 33



\*右下のマークは、産業廃棄物適正処理のマスコット「てき丸君」です。



# 岡山県産業資源循環協会として迎える 設立30周年の年

一般社団法人岡山県産業廃棄物協会 会長 大塚 雅司



あけましておめでとうございます。

新型コロナ禍、昨年は行動制限のない年でしたが、ウクライナ情勢の悪化や物価高が景気回復に大きな影響を与えた一年でした。

今年は卯年。「家内安全」、「飛躍向上」の年と言われており、新型コロナが収束し、景気も回復することを願っています。

さて今年も、岡山県産業廃棄物協会にとって大きな節目の年となります。

一つ目は、協会名称の変更です。

資源循環の時代を向かえ、我々業界では産業廃棄物処理業者から資源循環産業の担い手へと大きく転換の時を向かえています。平成29年4月、全国産業廃棄物連合会が全国産業資源循環連合会に名称変更したのを契機として、全国の産業廃棄物協会が産業資源循環協会等への名称変更が進み、現在、産業廃棄物の名称を使用する協会は全国で8県のみとなっています。

岡山県協会は、平成30年に西日本豪雨災害が発生し、協会を挙げて災害廃棄物処理支援業務に取り組んでいたため、協会の名称変更を見合わせ、令和5年の設立30周年に合わせて名称変更を検討することとしました。そして、昨年の総会の議決を経て、今年4月1日から名称を「岡山県産業廃棄物協会」から「岡山県産業資源循環協会」に変更することとなりました。

二つ目は、30周年記念式典の開催です。

当協会は、平成5年6月に法人として設立し、今年30周年を迎えます。過去の歴史・経験を受け継ぎ、未来の発展へとつなぐ架け橋となることが、現在を担う者の使命と考え、今年5月27日に通常総会と併せて30周年記念式典を開催することとしました。

資源循環の新時代を向かえ、地域・社会から信頼される団体を目指し、人材の育成、労働災害の防止、災害廃棄物処理の支援等に努めて参りたいと思いますので、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方の益々のご清栄及びご健勝を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。役員一同、今年もよろしくようお願い申し上げます。



# さらに持続可能な循環型社会に向かって

岡山県環境文化部 部長 佐藤 将男



明けましておめでとうございます。

一般社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様におかれましては、平素から本県の環境文化行政の推進に多大な御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年は、貴協会にとって設立30周年を迎えられる記念すべき年であり、心よりお喜び申し上げますとともに、設立以来長年にわたり、産業廃棄物の適正処理、リサイクルの推進に係る各種普及啓発、各地域における不法投棄物撤去事業など、幅広い環境保全活動に熱心に取り組まれてきたことに深く敬意を表します。

また、平成30年7月豪雨災害の経験を踏まえた災害対応力の強化におきましても、貴協会の御協力を賜り、昨年10月には、赤磐市にて災害廃棄物仮置場の設置訓練を実施したところであり、あらためてお礼申し上げます。

さて、本県では、県政推進の羅針盤である「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」に基づいて、循環型社会の形成やカーボンニュートラルへの対応、防災対策の強化など、本県の持続的な発展につながる施策に全力で取り組んでおります。

その一環として、昨年3月には、令和7年度を目標年とした第5次岡山県廃棄物処理計画を策定し、排出抑制や再生利用の推進による最終処分量の削減といった従来からの取組に加え、プラスチック資源循環法への対応や食品ロスの削減、海ごみによる海洋汚染などの新たな課題にも取り組むこととしております。

貴協会は、4月1日から「一般社団法人岡山県産業資源循環協会」へと名称変更されるとお聞きしておりますが、産業廃棄物の適正処理はもとより、持続可能な循環型社会の形成の推進に貴協会と会員の皆様方のより一層の御理解と御協力が得られるものと非常に心強く感じているところであり、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、貴協会と会員の皆様方の益々の御発展を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

# 自然環境と調和した豊かな暮らしを 将来世代に引き継ぐことを目指して

岡山市環境局 局長 國米 哲司



令和5年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

平素から一般社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様には、本市の環境行政の推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、貴協会におかれましては、廃棄物の適正処理やリサイクルの推進をはじめ、様々な活動を通じて循環型社会の形成にご尽力されており、心から敬意を表します。

近年、地球温暖化を原因とする気候変動の影響が世界各地で深刻化する中、市民生活及び経済活動を持続可能なものにしていくために「脱炭素社会」及び「循環型社会」の実現に向けた積極的な取り組みが求められております。

こうした中、岡山市では、令和3年2月に地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を実質ゼロにすることを旨とする「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、同年6月には「岡山市環境基本計画」及び「岡山市地球温暖化対策実行計画」を改訂、2050年までに排出量実質ゼロとする削減目標を定めました。

さらに、同年7月には、脱炭素社会の実現に向け、市内の大規模事業所でもある市役所自身が率先して行動する必要があると考え「再エネ100宣言 RE Action」への参加及びアンバサダーへの就任を表明し、市有施設への再生可能エネルギーの導入促進や省エネの推進に取り組んでおります。

また、プラスチック類の海洋流出により生態系を含む海洋環境に大きな影響を与えてしまうことが地球規模の問題となっていることから、岡山市では、令和4年3月に海洋プラスチックごみ対策アクションプランを策定し、市民と協働で清掃活動等を継続的に行い、海洋プラスチックごみ問題に取り組んでいます。

今後も、岡山市の環境像「豊かな自然と調和した持続可能なまち 岡山」の実現を目指して市民が環境問題に対する理解と関心を深めていけるよう継続的な環境情報を提供していき、市民協働による環境づくりに取り組んでまいります。

貴協会並びに会員の皆様におかれましては、廃棄物の適正処理やリサイクルなどで培った豊富な経験と知識を基に本市に対して循環型社会の実現に向けたご助言並びに引続きお力添え賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会並びに会員の皆様の益々のご発展を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 持続可能な循環型社会の構築に向けて

倉敷市環境リサイクル局 局長 佐藤 慶一



令和5年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

平素から、一般社団法人岡山県産業廃棄物協会並びに協会会員の皆様におかれましては、倉敷市の循環型社会の構築に向けた取組みに対し、格別なる御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年は、貴協会の設立から30周年を迎える節目の年であります。貴協会は、平成5年の設立以来、産業廃棄物の適正処理のための普及啓発や地域住民と協力して行われているクリーン作戦、小学生親子を対象にした環境問題について学ぶエコツアーなど、30年の長きにわたり地域社会への貢献を続けて来られています。そして、本市におきましては、平成30年7月に発生した豪雨災害の際には、災害発生当初から被災地に駆けつけ、災害廃棄物の処理等の復興に向けた厚いご支援を賜りました。これら全ての活動に対し、改めて感謝と敬意を申し上げますとともに、今後もご尽力賜りますことを心よりお願い申し上げます。

さて、この30年の間に私たちのライフスタイルは大きく変化し、それに伴い生活環境においても新たな課題が生じています。国連では、世界中の国が共通して解決しなければならない経済、社会、環境の課題について、持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: S D G s) を掲げ、2030年までを S D G s 達成に向けた「行動の10年」としています。国内においても、食品ロスや海洋プラスチック問題といった S D G s 達成のための取組みの一環として、令和元年10月に「食品ロスの削減の推進に関する法律」、昨年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されるなど、大量生産、大量消費、大量廃棄型経済における大量リサイクル社会から脱却し、循環の「量」から循環の「質」に着目した持続可能な循環型社会の構築に向けた試みが進められています。

しかしながら、地域社会における課題解決のために実際に行動しなければならないのは、地域に暮らす住民の皆様や事業者の皆様、そして行政であり、それぞれの理解と協力が必要不可欠となります。貴協会並びに会員の皆様におかれましては、30年の間に培った知識や技術、経験、そして地域との信頼関係のもと、引き続きお力添えを頂ければ幸いです。

最後になりますが、貴協会は本年4月1日に「岡山県産業資源循環協会」に名称を変更するとお伺いしております。新たな名称のもとで、次なる節目に向けて、貴協会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝、並びに御多幸を心より祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

# 年頭のご挨拶

公益社団法人全国産業資源循環連合会 会長 永井 良一



明けましておめでとうございます。

旧年中は、当連合会の諸事業に対し、皆様の多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、資源循環の新たな法制度として制定された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」（プラスチック資源循環促進法）が4月に施行され、9月には同法に基づき市区町村による再商品化計画の第一号となる大臣認定が行われました。

プラスチック資源循環促進法は、資源導入や製品設計の段階から廃棄物を出さない経済活動を目指す「循環経済」（サーキュラーエコノミー）の構築を進めようとする法律であり、今後は産業分野や企業規模を問わず、循環経済の導入が経済社会システム全体の主要な課題になるのではないかと考えています。

近年、低炭素とエネルギー転換の促進を背景として、世界的に規模が拡大しているESG（環境・社会・企業統治）投資においても、循環経済が重要なテーマになりつつあると言われています。脱炭素と循環経済を巡るこのような経済分野の動向は、全ての企業活動に大きな影響を及ぼすであろうことは間違いなく、産業廃棄物処理業もその例外ではありません。

当連合会は、産業廃棄物処理業が目指すべき将来像として、「資源・エネルギーをつくり出す産業への展開」をスローガンに掲げておりますが、本業界が低炭素と循環経済を基調とする経済社会づくりに貢献し、資源循環産業として発展していくための努力がますます重要になっていると感じております。

また、資源循環産業を支える人材の育成・確保のあり方や、その人材が安心して働くことができるよう、労働災害の発生を防止するための体制の強化に努めることも大切です。

本年も当連合会は、本業界を取り巻く様々な課題に取り組むとともに、「産業資源の循環的な利用を促進するための産業廃棄物処理産業の振興に関する法律案」の制定に向け、引き続き着実に活動して参りたいと考えています。

皆様の尚一層のご指導、ご鞭撻を頂戴できれば幸に存じます。

本年が皆様にとりまして、健やかな一年となりますようにお祈り致しまして、新年の挨拶とさせていただきます。



岡山県産業廃棄物協会青年部会

# 20周年記念式典・講演会・祝賀会

～青年部 どうせやるなら 楽しもう～

岡山県産業廃棄物協会青年部会の創立20周年記念式典・講演会・祝賀会が、令和4年10月14日に岡山プラザホテルにて開催された。

本年度は、創立22年度に当たり本来であれば、20年度を終えた翌年の前年度21年度目で開催する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い1年会期を延期して、今回岡山プラザホテルでは感染症対策を講じて開催した。



## 記念式典

15時半より行われた記念式典は、宇野公二現青年部会長の挨拶から始まり、来賓の方々からは、

- 岡山県環境文化部 生活環境循環型社会 推進課  
課長 千田 元久様
- 公益社全国産業資源循環連合会 中国地域協議会  
副会長 尾崎 俊哉様
- 一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会  
会長 大塚 雅司様
- 公益社全国産業資源循環連合会 青年部協議会  
会長代理 上村 誠紀様

以上の4名の来賓の方たちから祝辞を頂いた。



その後は、2009年の青年部会創立10周年以降の歴代青年部会 会長 4名

- 第5代会長 きのした せいじ 木下 聖士様  
(岡山東支部 新岡山陸運(株))
- 第7代会長 くらもと さとる 蔵本 悟様  
(岡山中央支部 (株)西日本アチューマツグリーン)
- 第9代会長 たなか だいいち 田中 大一様  
(岡山東支部 牛窓港湾運輸(株))
- 第10代会長 たなか つよし 田中 剛様  
(倉敷支部 (株)田中商会)



の方々に、宇野公二 第11代現会長がプレゼンターとなり記念品を贈答した、4名の歴代会長から各々の任期中の思い出をお聞きました。

その後、青年部会20周年のあゆみをまとめたVTRを鑑賞し式典は終了した。

## 記念講演

式典終了後、引き続き16時45から行われた今回の記念公演は、外部から講師を招いての講演ではなく、岡山県廃棄物協会青年部会 第5代会長 きのしたせいじ 木下聖士氏を講師に招き、『**経験は人の大きさに比例する**』のテーマで講演していただいた。

講演内容は、自身が新岡山陸運(株)含むグループを事業承継したころの体験談・その頃の苦勞を赤裸々に語るものであり、その大変だった時期に青年部の活動に参加しその中で成長されたという内容であった。

外部から来た人間ではなく、青年部の立ち上げから前年度の卒業まで一緒に活動していた木下様の講演内容は現会員・OB 関わらず強烈に皆に響いたのか皆食い入るように聞き入っていた。

講演後、質疑応答し最後に皆で記念撮影し終了した。







## 祝賀会

式典・講演終了後、18時から祝賀会となった。

まず、乾杯の挨拶をしてくださったのは岡山県産業廃棄物協会 副会長 <sup>くらもとさとし</sup> 蔵本 悟 氏の発声で乾杯。酒宴の開始となった。

## 余興ブレイクダンス

そして、18時30分より一つ目の余興としてゲストに岡山後楽館高校2年の菱川一心さんと一心さんの所属するダンススタジオ スタジオバーテックス様より総勢30名のキッズダンサーの皆様をお呼びして ブレイクダンスを披露して頂きました。

ブレイクダンス現世界チャンピオンで、次回からブレイクダンスが正式種目になるパリオリンピックの日本代表 強化指定選手の菱川一心さんとその他のキッズダンサー（スタジオバーテックスには複数名の日本チャンピオン在籍）パフォーマンスは圧巻で約30分会場を興奮させた。



## 余興くじ引き

その後、19時15分頃から、2つ目の余興としてくじ引きを行った。

55名の祝賀会参加者に対して、10本の賞を用意していたが青年部会OBの先輩たちの御好意で一本特賞を追加。

特賞を含む11本でおおよそ五分の一の確率に会場は盛り上がった。





## 締め挨拶

今回の20周年記念事業は、現会長 宇野公二を筆頭に現青年部会会長(宇野)・副会長(古山・小林・大塚・的場・田口)・元会長(田中剛・田中大一)の8名で実行委員会行っていたので締めの挨拶では、全員が前に立ち来場頂いた皆様に感謝をお伝えし、会は無事閉会となった。

## 最後に、今回お越しくださった皆様に 実行委員よりご挨拶



### 青年部会 11代目会長 宇野 公二

青年部会は、創立20周年のめでたき節目を迎えることができました。

これまでにご尽力された方々の想いを繋ぎ、更なる飛躍をしたいと思えます。

20周年記念事業が盛大に開催することができましたのも皆様方のご理解とご支援の賜物だと心より感謝申し上げます。

### 青年部会 10代目前会長 田中 剛

ご多様中の中駆け付けて下さいました皆様のお蔭をもちまして30年に向け盛大な門出となりました。

心より感謝申し上げます。

そして本会の開催に最大の尽力をし、最後に涙した的場実行委員長、良き思い出がありがとう！！



**青年部会 9代目前々会長 田中 大一**

先輩方のお陰で青年部会創立20周年記念式典、記念講演、祝賀会、無事に開催する事が出来ました。

本当にありがとうございました。

先輩方が繋いでくれたバトンをしっかり繋いで行くつもりですのでこれからも宜しくお願いします。

**青年部会 幹事長兼副会長の場 雄一**

この度、実行委員長の私の希望で今回のテーマを～青年部 どうせやるなら 楽しもう～にさせて頂きました。準備等色々大変でしたが、青年部の仲間と最高に楽しめました。先輩たちが繋いでくださった20周年にこうして携われて幸せでした。助けて下さった幹事・実行委員・OB全ての皆様本当にありがとうございました。

**青年部会 副会長 古山 久幸**

諸先輩方が築いてくださった20年は大変感慨深いものです。われわれ現役メンバーはこれに満足してはいけません。昔からイノベーションを起こせるのは『若者、馬鹿者、よそ者』だと言われていました。

我々青年部も失敗を恐れず活動していきたいと思しますので、その際には大きな心で見守っていただけると幸いです。宜しくお願い致します。

**青年部会 副会長 大塚 翔**

創立20周年を迎えることが出来たのは、偏に先輩方のお陰です。

私はこの大事な節目に立ち会えたことに大変嬉しく思います。

未熟者ではございますが、精進して参る所存です。ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

**青年部会 副会長 小林 弘明**

青年部創立20周年の記念式典につきましては、ご多忙の中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

諸先輩方のご努力のおかげを持ちまして20周年を迎えることが出来ました。

今後は青年部一丸となり努力してまいりますのでご指導の程よろしくお願い致します。

**青年部会 副会長 田口 勝**

青年部会創立20周年記念式典にご参加頂きまして、心より御礼申し上げます。

また、これからの廃棄物業界を担う若手にご指導ご鞭撻賜りましたことに心より感謝申し上げます。



**青年部20周年に携わってくださった皆様ありがとうございました。  
実行委員一同、御礼申し上げます。**

岡山県からのお知らせ

# 産廃の違法運搬を食い止める!

## ～抜き打ち検査を実施しています～

### 1 取組の概要

岡山県では、産業廃棄物の適正処理を確保する方策の一つとして、県外からの産業廃棄物の搬入に係る事前協議制度を設けています。

この制度により、産業廃棄物の適正処理や県外からの搬入抑制に一定の効果が上がっていると思われませんが、事前協議を経ることなく県外から産業廃棄物が搬入されるケースも散見されます。

こうした背景から、平成15年度から年に数回、警察の協力を得て主要幹線道路において産業廃棄物を運搬している車両の抜き打ち検査を実施し、廃棄物の種類・性状、排出事業者、運搬先等を確認するとともに、マニフェストとの突合、必要書類の点検等を行っています。

### 2 路上検査の結果

令和4年は路上検査を2回実施しており、第1回は岡山県単独で、第2回は岡山市及び倉敷市と時期を統一して実施しました。

#### (1) 第1回(6月2日～6月8日に県内3か所で実施)

	岡山県
停車指示車両数	38台
うち産廃関係車両数	20台
うち指導台数	<b>2台</b>

#### (2) 第2回(10月31日～11月10日に岡山市及び倉敷市と時期を統一して県内3か所で実施)

	岡山県	岡山市	倉敷市	合計
停車指示車両数	13台	12台	3台	28台
うち産廃関係車両数	7台	6台	1台	14台
うち指導台数	<b>0台</b>	<b>3台</b>	<b>1台</b>	<b>4台</b>

### 3 違反事項と対策

- 過去実施分も含め、多い指導事項は、**車両への表示不備、有効な許可証の写しの不携行、マニフェストの不携行や記載不備**であり、すぐに改善できる内容ですので、この機会に確認をお願いします。
- 産業廃棄物を産業廃棄物でないと思いこみ運搬するケース**も散見されますが、契約締結時等の機会を捉えて排出事業者から排出工程等を聞き、所管行政庁に確認すれば未然に防げる場合がありますので、こうした確認を徹底していただき法令違反となるような事態を回避してください。

岡山県からのお知らせ

# 大気汚染防止法の改正

## 石綿飛散防止のための規制が順次強化されています！

建築物等の解体等工事における石綿の飛散を防止するため、令和2年に大気汚染防止法が一部改正され、令和3年4月から順次、すべての石綿含有建材への規制対象の拡大、県知事等への事前調査結果報告の義務化等の規制が開始されており、**令和5年10月1日からは、事前調査の実施者が有資格者に限定**されます。

### 改正の概要

#### ○令和3年4月1日施行

1	規制対象の建築材料の拡大等（レベル3建材の追加等）	4	隔離を伴う作業での石綿漏えいの有無の確認
2	事前調査方法の法定化	5	取り残しの有無の確認
3	事前調査の記録・保存、記録の写しの現場への備え置き義務化	6	作業の記録・保存・報告等の義務化
		7	直接罰の適用、罰則対象の拡大など

詳しくは、岡山県ホームページをご覧ください。

(URL) <https://www.pref.okayama.jp/page/699479.html>



#### ○令和4年4月1日施行

##### 【事前調査結果の報告】

解体等工事の元請業者は、建築物等における**石綿含有建材の使用の有無を事前に調査（事前調査）**することに加え、その結果を県等へ報告することが義務づけられました。この報告には、場所や時間を問わず、パソコン・スマートフォンで簡単に報告できる石綿事前調査結果報告システムをご利用ください。

##### 1 報告対象工事

- (1) 建築物の解体作業：床面積の合計が80m<sup>2</sup>以上
- (2) 建築物の改造・補修作業、工作物の解体・改造・補修作業：請負代金の合計額が100万円以上

##### 2 石綿事前調査結果報告システム

###### (1) GビズIDの事前取得

報告には、デジタル庁が所管する「GビズID」を事前に取得する必要があり、パソコン・スマートフォンで簡単に取得できます。(URL) <https://gbiz-id.go.jp/top/>



###### (2) 石綿事前調査結果報告システムによる報告

パソコン・スマートフォンを使用し、事前調査結果の報告を労働基準監督署・自治体の窓口に向くことなく、いつでも一度の操作で行うことができます。また、システムに入力したデータを活用して、事前調査結果の掲示用資料等を作成することができます。

(URL) <https://www.ishiwata.mhlw.go.jp/result-reporting-system/>



#### ●令和5年10月1日施行

##### 1 事前調査を行える者

**建築物**については、**次の有資格者しか事前調査を行うことができなくなります**ので、解体等工事に併せて事前調査も受託する方などは、**早めの資格取得**をお願いします。

- |                  |  |
|------------------|--|
| ① 特定建築物石綿含有建材調査者 | ④ 令和5年9月30日以前に（一社）日本アスベスト調査診断協会に登録され、事前調査を行う時点においても引き続き登録をされている者 |
| ② 一般建築物石綿含有建材調査者 |  |
| ③ 一戸建て等石綿含有建材調査者 |  |

##### 2 資格取得に係る講習会情報（厚生労働省：石綿総合情報ポータルサイト）

(URL) <https://www.ishiwata.mhlw.go.jp/course/>



### お問い合わせ

- 岡山県 環境文化部 環境管理課 大気保全班 TEL：086-226-7302（直通） FAX：086-224-2147  
※岡山市又は倉敷市の解体等工事については、各市役所環境担当課にお問い合わせください。



中国四国地方環境事務所からのお知らせ

# プラスチック資源・金属資源等のバリューチェーン 脱炭素化のための高度化設備導入等促進事業

(令和5年度予算情報)

中国四国地方環境事務所資源循環課

**【令和5年度要求額4,991百万円(新規)】**

脱炭素型のリサイクル設備・再生可能資源由来素材の製造設備等の導入促進支援を行います。

## 1. 事業目的

- ①プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が令和4年4月に施行されたことを受け、自治体・企業によるプラスチック資源の回収量増加、また再生可能資源由来素材への需要拡大の受け皿を整備する。
- ②再エネの導入拡大に伴って排出が増加する金属資源、半導体をはじめとした少量多品種に分散しているレアメタル等を確実にリサイクルする体制を確保する。

## 2. 事業内容

- ①省CO2型プラスチック資源循環設備への補助  
・効率的・安定的なリサイクルのための、プラスチック資源循環の取組全体(メーカー・リテ일러・ユーザー・リサイクラー)を通してリサイクル設備等の導入を支援する。  
・再生可能資源由来素材の製造設備を支援する。
- ②金属・再エネ関連製品等の省CO2型資源循環高度化設備への補助  
・国内資源に限りがあることから、都市鉱山を資源調達元として位置づけられるような体制作りを支援する。



金属破碎・選別設備



Li-ion電池  
リサイクル設備

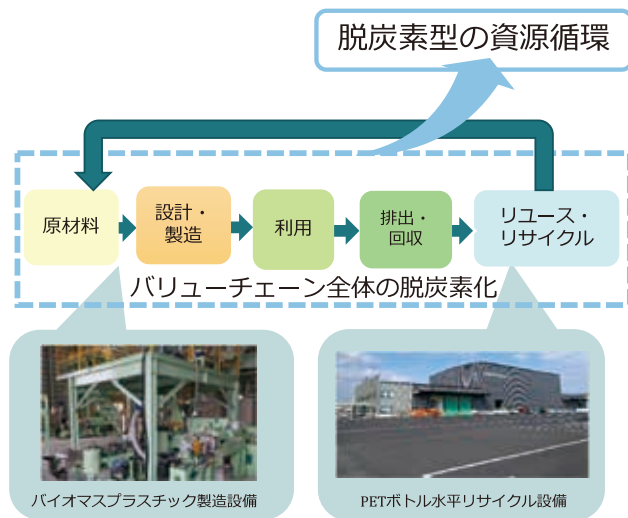


太陽光発電設備  
リサイクル設備

## 3. 事業スキーム

- 事業形態 …… 間接補助事業(補助率1/3、1/2)
- 補助対象 …… 民間事業者・団体等
- 実施期間 …… 令和5年度～令和9年度

## 4. 事業イメージ



お問合せ先：環境再生・資源循環局 総務課 リサイクル推進室 電話：03-5501-3153



## 令和4年度 岡山県災害廃棄物仮置場設置訓練

令和4年10月27日、赤磐市で令和4年度岡山県災害廃棄物仮置場設置訓練が開催されました。会場となった山陽浄化センターは、朝方冷え込みましたが訓練が始まる頃には温かくなり、好天気の中、岡山県、赤磐市、岡山県産業廃棄物協会の参加者65名、見学者111名、報道関係者等19名の合計195名が参集しました。協会からは、訓練参加者として東備支部、岡山東支部、岡山西支部、岡山中央支部及び青年部会の37名（災害廃棄物委員を含む。）、大会役員として大塚会長及び災害廃棄物委員の6名、見学者として各支部から40名の合計83名が参加しました。

開会にあたり、岡山県の佐藤環境文化部長、赤磐市の友實市長、協会の大塚会長、有識者の国立環境研究所の宗先生が挨拶し、この訓練事業を受託した(株)建設技術研究所の進行で訓練が始まりました。

岡山県主催の災害廃棄物仮置場設置訓練（実地訓練）は、今年が3回目です。訓練に先立ち7月から3回にわたり岡山県、赤磐市、協会の関係者が集まり、災害廃棄物仮置場に関する基礎知識を確認するとともに、赤磐市が仮置場候補地として選定している山陽浄化センターでの仮置場設置計画を協同で作成し、訓練計画を立て、関係者の役割分担、会場準備、必要資機材の調達、参加者の調整等を進めてきました。今年の訓練は、会場となる山陽浄化センター仮置場の敷地が約5,000㎡と狭く細長い特徴を踏まえ、昨年までの内容を少し変更しましたが、一般的な一次仮置場の規模をイメージした訓練となりました。

- 開催日時 令和4年10月27日（木）10：30～15：00
- 開催場所 赤磐市立川373-1「山陽浄化センター」
- 主催者 岡山県（訓練業務委託者（株）建設技術研究所）
- 参加者 岡山県10名、赤磐市11名、協会43名（地元支部37名、役員等6名）、有識者1名（国立環境研究所 宗清生） 合計65名
- 見学者 環境省中国四国地方環境事務所3名、岡山県出先事務所8名、市町村39名、赤磐市16名、協会40名、他県5名 合計111名
- その他 報道関係、訓練事業委託者19名
- 日 程

10：30～10：45 開会挨拶（岡山県、赤磐市、協会、有識者）

10：45～11：50 設置訓練（資機材設置、処理等）

- ①コンクリートブロック（トーフ）設置【新】
- ②敷鉄板敷設（敷鉄板、軽量敷鉄板）
- ③飛散防止ネット（A型）設置＋ 仮囲い【新】
- ④ヒアブ車による家具・畳の回収搬入【新】
- ⑤畳の破碎【新】

13：00～14：40 管理運営訓練

- ①受入れ、荷下ろし、不適正搬入疑い事案への対応
- ②温度管理、飛散防止・粉じん対策



- ③濡れ畳の取扱【新】
- ④ドローン測量【新】
- ⑤大型車両による搬出

14：40～15：00 評価（赤磐市、協会）、講評（有識者）、閉会挨拶（岡山県）

## 訓練参加者の感想

### ◎東備支部

支部長（有和気環境サービス 松本 公子）

今年の訓練が赤磐市で開催されると聞き、地元支部である東備支部の支部長として一抹の不安を抱きました。というのも、東備支部は支部会員24名と協会の中で最も会員数が少なく、処分業者も少ない支部だからです。そのため、災害廃棄物処理支援に当たっては、お隣の岡山3支部から応援してもらい収集運搬業務や仮置場管理業務を行う体制としており、今回の訓練でも東備支部と岡山3支部の合同による訓練への参加となります。

訓練に先立ち、岡山県、赤磐市、協会の災害廃棄物委員、東備支部及び岡山3支部の関係者が集まり、検討準備会を3回開催しました。さらに、訓練に参加する東備支部と岡山3支部は、打合せ会を3回以上開催して役割分担をしながら準備を進めました。

そして訓練当日、参加者の皆様のすばらしい連携プレーを間近にみて、私もその一員として参加できたことをうれしく感じました。

「あんな大きな機械、どうやって動かすのかなあ？」

「すげえ高けんじゃろうなあ…」と言っている見学者がいましたが、私もその一人です。

4つの支部が一緒に何かをやるのは、今回の訓練が初めてでしたが、「災害支援」という共通目的のもと何とかやり遂げることができたと思っています。これもひとえに、参加した皆様の情熱と探求心、少しでも良い環境を作りたい、地域の役に立ちたいと言う強い思いの賜物だと感じています。

災害はいつ起こるか分かりません。岡山県内でも河川の氾濫が身近に起こっています。

今後はこの支部連携の輪を広げ、協会員の素晴らしい連携で、岡山県の発展に寄与できたらと思っています。訓練関係者の皆様、ありがとうございました。



### ◎東備支部

キョクトウ(有) 鈴木 俊一

訓練実施地である赤磐市は当協会内にあつて会員数も多くない東備支部管轄となりますが、災害時には県、協会並びに会員、特に隣接する各支部よりのサポートが確実にある。そのことが、混乱する地元関係者の心理的、物理的不安が解消され、今後持ち込まれるであろう不確定な発生量や、市民からの多種多様な廃棄物の集中的な受入れに際し、必要な人配、コミュニケーション、煩雑な書類管理等の対応に





専念することができると感じました。

また、今回、災害ゴミ受付の訓練で廃棄物の処分先を含めた処理過程において、スムーズで安心な対応窓口として、赤磐市役所の方々との共同作業を通じ、また見学者からは危機意識の高い市民が多く、協力関係にあることから限られたスペースでの災害廃棄物仮置場の運営に際し、災害発生後の厳しい条件下においても、人との結びつきが支部間連携となり、最新の重機、ドローンをはじめ遠隔監視、リモート機材の導入により、デジタル的に簡素化された受付から搬出・処分までの適正な廃棄物の処理が可能であると思いました。

今後も被災対応の経験が反映された現実的な想定での訓練と、災害に直面したときの前向きな意識と処理体制を保持することが大切で、個人的にも携わって行きたいと考えています。今回のモデル事業としての訓練開催に際し、サポートしていただいた各支部の皆様のご尽力に感謝申し上げます。



### ◎岡山東支部

新岡山開発(株) 木下 聖士

訓練最初の項目であります、コンクリートブロックと敷鉄板の設置を実施させていただきました。弊社は主に下水道工事を施行する土木工事業ということもあり、普段より街中や住宅街の狭い場所でのユニックによる材料や機械の荷下ろしも行っているものでいつも通りの作業をさせていただきました。

実際の置き場となる場所は色々な地盤が想定されるので、重機や車両が入って来やすいように運搬経路を確保することが重要となります。そして廃棄物が混合されないためのブロック等での仕切りも必要となります。このような事前作業をしっかりとやっておくことが後々の作業の向上につながります。

「オレンジっす。」のTVCMグループ企業なので作業着や車両もオレンジに統一させていただき、夕方のニュースでもバッチリ映らせていただきました。良い経験ができてスタッフ一同も喜んでおりました。



### ◎岡山西支部

(有)片岡久工務店 片岡 重治

本年度で3回目となる岡山県主催の災害廃棄物仮置場設置訓練が赤磐市で開催され、東備支部を主体に岡山3支部（岡山中央・岡山西・岡山東）がサポートする体制で行われました。

岡山西支部の私が担当したのは事前準備。

仮置場の現地確認で問題視したのは既存の進入路ルートでした。道幅やクランク状の道路は車両が制限されてしまいます。事前協議時に岡山東支部の「オレンジっす」の助言で仮設道の取付を市に提案・了承してもらうことで、大型車両の乗り入れが容易になり、設営準備もスムーズに行え、訓練時における廃棄物

の搬出方法の向上にも繋がる計画となりました。

仮置場の選定は、どこの市町村でも大変苦慮されていると聞きます。今後も、様々な仮置場候補地で訓練を視野に入れ官民一緒に協議して行ければと思います。

訓練本番では、岡山西支部はヒアブ車による搬入訓練と大型車両による搬出訓練を受け持ちました。ヒアブ車両による搬入訓練は今回初めての訓練でしたが、災害時におけるヒアブ車の利便性をしっかりアピールすることができ、また大型車両による搬出訓練は仮設道取付により実現できたものですが、仮置場からの災害廃棄物の排出の重要性を皆様にご理解いただけたのではないかと思います。

そして、今回は多くの協会青年部会のメンバーに積極的（半強制的??）に参加していただき、次世代への継承も同時にできたのでは…と思っています。お疲れ様でした。

最後に、岡山県、赤磐市、建設技術研究所、そして産業廃棄物協会の皆様に、感謝と御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

●岡山中央支部 (株)西日本アチューマツクリーン 岡野 英隆

令和4年度岡山県災害廃棄物仮置場設置訓練が赤磐市で開催され、豊破碎訓練の安全管理者として参加させて頂きました。

前日に資機材の設置などを行い、移動式破碎機、0.7バックホウをトレーラーで搬入しましたが、敷地内の有効幅員の関係で訓練場所に車両が入りませんでした。その為敷地内の通路から自走させ設置を行いました。仮置き場の面積や立地によっては大型重機等の搬入が困難場所もあるので、その際は、搬入路の整備や運用方法についても検討する必要がある事が確認でき勉強になりました。

訓練当日、協会員のメンバーの方と打合せを行い、本番を迎えました。廃棄物のプロとして普段活躍されている協会員のメンバーの方々は、当日の打合せのみで作業指揮者の指示通り迅速に訓練を進めている姿にさすがだと思いました。

豊の破碎については、30年豪雨の災害廃棄物処理の際も処理を行いました。本豊は破碎すると発塵があり、内部にダニ等もいる為、散水などで粉塵対策が必要な事と、破碎する事で発酵が促進され破碎後物の温度が上昇する為、速やかに搬出する必要がある事など訓練を通じて改めて確認する事が出来ました。

今回の訓練で実地訓練は最後となりますが、岡山県、市町村、協会の方々と顔を合わせ協力して訓練をする事で連携が取れ、災害時の仮置き場の設営から運営が迅速に行えると感じました。毎年のように各地で起こる大規模災害の対応の為に今後も、一人でも多くの方が対応できるよう訓練の必要性を感じました。





## ◎岡山中央支部

支部長・災害廃棄物委員長 (株)西日本アチューマツクリーン 藏本 悟

3回目を迎えた仮置場設置訓練が岡山県備前県民局管内である赤磐市で開催され、協会として東備支部、岡山東支部、岡山西支部、岡山中央支部、青年部会合同で参加し、訓練指揮者として災害廃棄物委員会委員長でもある私が大役を仰せつかりました。

訓練当日までに、各訓練担当者責任者が集まり何度か打合せが行われましたが、皆さん業務多忙でもあり何とか10月21日に全ての役割が決まり、訓練当日を迎えることになりました。

訓練当日の朝、初めて全員が揃い各訓練のリハーサルを行いました。参加者の皆さんは豊富な経験と優れた能力を持ったメンバー達で、私は「さすがじゃなあ」と感心、本番では各訓練の所要時間が予定より長かったのもありましたが、トラブルは無く、終わってみれば予定時刻どおり、皆さんの日頃の業務対応力の高さを証明することとなったのではないのでしょうか。



今回の訓練を終えて、いつ起こるかわからない災害、起きた際には岡山県との協定締結団体として、又、その運用体制を強化したことにより、市町村の方々の期待度も高く、より一層迅速な対応が求められることとなります。

常日頃から、県を始め市町村担当者と顔が見える信頼関係を構築し、有事の際には協会における災害廃棄物処理初動対応フローに基づき、即座に行動のできる万全の体制づくりが重要だと実感いたしました。



## 講 評

## ◎国立環境研究所

客員研究員 宗 清生

平成30年7月豪雨により大きな被害を受けられ、その処理はすでに完了されているが、その過程においてうまくいったこといかなかったことがあると思う。その貴重な経験を将来に伝えるという意味もこの訓練にはあったと思うし、実際に役立つ訓練になっていると思う。災害廃棄物の処理は、被災自治体だけで完結しないため、民間事業者や近隣自治体との連携が非常に重要である。民間事業者でも自信を持って災害廃棄物処理ができるよう、協会内で経験継承し、協会全体でバックアップできる体制を整えていただきたい。

関係者の皆様、大変お世話になりました。災害時の初動対応で最も重要な仮置場の設置訓練を通じ、県・市・協会の顔の見える関係づくりと、協会内の支部を超えた協力体制確立の一助となったものと感じています。

岡山県の仮置場設置訓練は令和4年度で終わり、令和5年度からは新たな災害廃棄物対策事業が始まるとお聞きしています。今後も、岡山県や市町村から災害廃棄物処理に係る訓練の協力依頼があった際は、全力を挙げて取り組んで参りたいと思いますので、よろしくお願ひします。



## 令和4年度 宿泊視察研修会レポート

令和4年11月18日（金）から19日（土）にかけて視察研修会に参加しました。コロナ禍で3年ぶりの開催ということで、会員の方と交流が持てること、視察での新しい発見、そして美味しいものが食べられる予感がしていて、とても楽しみにしていました。参加人数は18名で岡山駅から新幹線で新大阪駅へ、その後バスに乗り換えて出発しました。

初日は日本最初の世界文化遺産、また世界最古の木造建築である「法隆寺」を拝観し、金堂、五重塔、大宝蔵院など、歴史また仏教文化が垣間見える建築物、仏像、宝物類には思わず声が出る凄さがありました。昼食は奈良の伝統的な郷土料理「柿の葉ずし」を頂きました。そしてバスに揺られ気持ちよく寝ているうちに視察先に到着しました。



大栄環境グループは全国にあり、廃棄物処理・資源循環事業に留まらず、エネルギーの創造や森林保全などさまざまな事業に取り組んでいます。その中の三重県伊勢市にある「三重中央開発株式会社」が今回の視察先です。まず事業概要の説明を受け、その時点でとんでもない規模の処理場だと認識しました。



そしてバスに乗り込み、管理型最終処分場へ。埋立容量12,807,077m<sup>3</sup>と何とも壮大なスケールで、想像を絶する景色がそこにありました。次にサーマルリサイクルの焼却施設では、熱エネルギーを発電に利用し事業所内に供給、また発生する焼却灰を高温で焼成して無害化し、最終処分場の覆土材として再資源化している。浸透水も処理後はすべて場内利用していて、資源循環としてすごく理にかなっているなと思いました。印象に残ったのはトランスヒートコンテナシステムを使って、伊賀のサンピアホテルへ熱源を供給していることでした。新しい事業にどんどん取り組んでいて、今後は廃プラスチック類のケミカルリサイクルを視野に入れているとの事でした。







夕食は伊勢海老などの海鮮料理に舌鼓を打ち、その後は諸先輩方に夜の教育研修をして頂き、伊勢の夜は更けていきました。

2日目は「伊勢神宮（お伊勢さん）」の参拝です。まず樹齢何年かわからない大樹がそびえ立ち、その大きさに驚き、思わず触っていました。もちろんパワースポットとしてお触り大丈夫です。内宮の五十鈴川周辺は所どころ紅葉していて、秋を感じることが出来ました。おかげ横丁では伊勢に伝わる暮らし・文化に触れることができ、食べ歩きをしたり、お土産を買ったりと楽しんでいるうちに、すぐに時間が過ぎていきました。昼食は松阪市に移動し、ドリームオーシャンで松阪牛のしゃぶしゃぶを頂き、これまた笑顔になる美味しさで視察研修会を締めくくりました。



今回の視察研修会にあたり、視察を受け入れて頂いた大栄環境グループの皆様、また大塚会長をはじめ、参加会員と事務局のご協力により大変有意義な視察研修会になったこと心より感謝致します。





岡山西・  
岡山中央  
支部

## 岡山西支部・岡山中央支部合同 貝殻山クリーン作戦

- 実施日時：令和4年11月8日(火) 8:00~11:30
- 実施場所：岡山市南区宮浦地内貝殻山周辺

新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催となりました今回のクリーン作戦ですが例年同様に中央支部との合同で行い118名の多くの方々に参加を頂き大変盛り上がった活動となりました。

作業当日は、快晴で午前8時に貝殻山の山頂に集合。大塚会長より開会挨拶後、参加者の紹介や作業手順を確認した後に貝殻山を二手に分かれ作業を開始しました。作業前の道路沿いは比較的きれいな状態に見えたものの、斜面等には、廃タイヤや家電ゴミ、家庭ゴミ等多数の廃棄物がありました。参加者によって手際よく収集をして頂き、廃棄物が多く発見した場所には、不法投棄防止を呼び掛ける立て看板を設置しました。

順次、分別場所の貝殻山山頂へ再度集合し、沢山の回収物を積んだ車両が次々と集まり仕訳場所は見ると見るゴミの山となりましたが、岡山市職員の方々を中心として分別頂いたので、廃棄物の分別作業もスムーズに進み、事故やケガ無く約3時間半の作業で無事に終了する事が出来ました。今回のクリーン作戦において、約16tもの不法投棄物を回収する事が出来ました。

ご参加頂きました皆様、ご協力ありがとうございました。

**参加者**：岡山県議会議員 1名、岡山市議会議員 1名、  
環境省中四国環境事業所 1名、  
備前県民局地域政策部環境課 1名、  
岡山市南区児島地域センター 1名、  
岡山市環境局環境事業課他 17名、岡山南警察署 2名、  
甲浦学区町内会(宮浦、鮑浦、北浦、郡) 31名、  
岡山県産業廃棄物協会会長 1名、  
岡山西支部会員 32名、岡山中央支部 30名 総数118名

**参加車両**：8tダンプ、4tダンプ、2tダンプ、軽四 計13台





倉敷  
支部

## 第26回 倉敷地域環境クリーン作戦

- 実施日 令和4年11月16日(水) 9:00~11:00
- 場所 倉敷市粒江地内
- 参加者 支部会員45名  
倉敷市、倉敷市環境衛生協議会
- 車両 3台
- 回収量 0.54t (ウィンドファン、プラ波板、木くず、ガラスくず、可燃ごみ等)
- 立看板 2本設置



今回は、倉敷支部においては2年振りの久しぶりのクリーン作戦となりました。これまでの不法投棄の防止に係る啓発活動が功を奏したのか、今ではありがたいことにクリーン作戦の実施場所の選定に苦労するほどになっています。

作業実施2か月前の支部会終了後に役員で下見を実施し、様々な廃棄物が崖下に投棄されていることを確認、回収方法についての打ち合わせを行いました。

作業当日は晴天に恵まれ、早朝より倉敷市の支部役員をはじめ、支部の皆さんが集合しました。井上支部長、倉敷市大江参事の挨拶後に、本日の作業の説明、ケガや事故のないようしっかりと注意事項等を確認後、3班に分かれて回収作業を開始しました。

当初は、不法投棄されている廃棄物量は少ないと予想していましたが、いざ始めると落ち葉の下から、ガラスくず、プラごみ、波板などがどんどん出てきました。

約2時間で現地の廃棄物はほぼ回収することができ、処理先ごとに分別を行い無事作業終了となりました。

最後に、倉敷市環境衛生協議会中村氏より会員へ向けにお礼の言葉をいただきました。

コロナ禍にもかかわらず、倉敷支部の企業の皆さまには積極的にクリーン作戦に参加いただき感謝します。引き続き、不法投棄一掃に向けて、倉敷支部の皆さんと力を合わせて啓発活動を続けていきたいと思えます。ご協力いただきました皆さまにあらためてお礼を申し上げます。





倉敷南  
支部

# 環境クリーン作戦

- 実施日 令4和年11月5日(土)
- 実施場所 倉敷市児島  
鷺羽山スカイライン周辺
- 参加人数 会員会社18社、支部会員24名

今年は倉敷市鷺羽山スカイライン周辺のクリーン作戦を実施致しました。

天候良くクリーン作戦日和となりました。

会員各社24名の皆様に参加していただきました。

今年の回収は3カ所に分かれ雑木林の斜面での作業となりました。

回収物の種類は、タイヤ、吸殻、空き缶等様々なものがありました。

回収後、例年通り不法投棄禁止の立て看板を新たに設置し終了しました。

参加くださいました支部会員並びに、関係者の皆様の御協力有難うございました。





井笠

支部

## 矢掛町環境クリーン作戦

- 実施日 令和4年10月20日(木) 8:00~11:00
- 実施場所 小田郡矢掛町江良地内 林道法面3カ所
- 参加者 23名(うち支部会員20名)
- 回収量 4t(空き缶、プラスチック類、家電、タイヤ、ペットボトルなど)

井笠クリーン作戦は令和4年10月20日(木)に行われました。当日は穏やかな天候の元、矢掛町江良地内の林道法面3カ所の不法投棄物撤去作業を行いました。

当日は備中県民局、矢掛町からの参加も頂き支部会員20名、総勢23名にて撤去作業を行いました。

急な斜面での作業であり大きな物はロープを使って引き上げ、空き缶やプラスチック類は袋に入れ回収しました。また林道が狭い為、一般車両の通行の確保等に少し手間取りましたが支部会員の手際の良さと連携プレイにて午前中にて無事作業を終える事ができました。

集まった投棄物は約4tで矢掛町の処分場へ搬入しました。

また不法投棄防止の啓発活動として看板設置を行い、市民への意識向上を促しました。

不法投棄は以前と比べると減ってはきておりますが、私たちが次への時代へ負の遺産を残しては恥ずかしいと思っておりますので、この協会を通じて発信していけたら良いと思っています。

最後に、今回ご参加して下さった皆さんありがとうございました。今後もこの活動は続けて行きたいと思っております。





備北  
支部

## 新見地域環境クリーン作戦

今年の新見地域環境クリーン作戦は10月20日(木)と10月27日(木)に行われました。新見市環境衛生協議会が毎年実施しているクリーン作戦に、新見市と岡山県産業廃棄物協会備北支部が参加協力しているもので、備北支部会員はクリーン作戦用の青ジャンパーを着用して参加しました。この青色ジャンパーは山間の紅葉の中でひととき目立ち一目瞭然で協会の参加をアピールすることが出来ました。



10月20日は、新見市草間地内の高梁川沿いで行いました。新見市、新見市環境衛生協議会、岡山県産業廃棄物協会備北支部から約60名が集まり、備北支部からは5名が参加して、空き缶、ペットボトル、弁当ガラなど約4㎡を回収しました。



10月27日は、新見市哲多町大野・宮河内地内の県道下神代哲多線沿いで行いました。当日は晴天でしたが少し肌寒い日で、全体の参加者は約30名で、備北支部からは5社7名が参加しました。



クリーン作戦実施エリアには、哲多町「健康の森ふれあい広場」の駐車場に集合して、上下に分かれて行きました。クリーン作戦の現場の道路沿いは、10月なものには草が覆いかぶさっており、草の中にゴミが隠れて斜面のため足場が不安定でしたが、大きな事故もなく無事、午前中に終了しました。

今回のメインの作業は、道路沿いの草の中の空き缶、ペットボトル、コンビニ袋などのプラスチックの撤去でした。空き缶、ペットボトル、コンビニ袋だけでも、用意した2トトラックに一杯となりました。昨年に引き続き今年も参加者が多く、皆さんの手際のよい作業のため道路沿いはきれいになりました。

この新見市環境衛生協議会主催のクリーン作戦は来年も行われるので、引き続き参加させていきたいと思います。地域の方の協力のもと、事故もなく無事クリーン作戦が終了することができましたことに改めて感謝申し上げます。



津山  
支部

# 第26回 津山支部環境クリーン作戦

- 実施日時 2022年11月17日(木) 8:30~12:00
- 実施場所 津山市野介代地内
- 参加人数 46名(会員29名、美作県民局4名、津山市10名、地元住民3名)
- 回収量 計5,190kg(可燃物、不燃物、粗大ゴミ、古タイヤ、スクラップ、廃家電等)

コロナ禍で2年間実施することができていなかった津山支部のクリーン作戦ですが、今年度は新型コロナウイルス感染を対策しつつ、無事開催することができました。

今回実施した場所は過去2回実施している(2003年、2007年)津山市野介代地区でした。といっても当時を知るものはほとんどおらず、恥ずかしい話ですが事務局も作業当日まで過去やっていた場所だとは知らずに作業していたところ、ゴミの中からクリーン作戦で使用する立て看板がでてきて判明しました。長い月日の中で折れてしまったのか、それとも不法投棄の車両の邪魔になるので折られてしまったのか理由はわかりませんが、少し悲しい気持ちになりました。なぜ綺麗にした所に再度ゴミを不法投棄するのか、いちごっこの繰り返しになってしまうので、ゴミは回収するだけでなく、捨てさせない工夫も必要なんだと改めて感じました。



作業場所は道が狭く、大型車両を停車させる場所が限られ、協会の得意分野を生かせない環境ではありましたが、参加者皆様のご協力のおかげで非常にスムーズに進めることができました。ゴミは可燃物、不燃物、粗大ゴミ、古タイヤ、スクラップ、廃家電等バラエティにとんでいて、掘ってみると地層のようになっていて底が見えない量が投棄されていました。回収した量は5,190kgでしたが、重機を使わず手作業のみで集めたことを考えると驚くべき重量だと思います。

この日に回収したゴミは、津山市や会員各社からご協力頂いた車両に載せて運び出し、二度とこの地に不法投棄を起こさせないよう願いを込めて再び看板を打ち立て、12時頃に作業は終了しました。

作業前はゴミ捨て場と化していた山林でしたが、元の美しい自然に近づけることができました。残念ながら地中に埋まっていて回収が難しかったものは次の機会があれば掘削器具を用意して対処したいと思います。



最後に、不法投棄をすれば、一時的にはゴミが手元から離れますが、結果的に山中や海などを汚染し、私たちに悪影響として跳ね返ってきます。今後不法投棄がなくなり、すべてのゴミが適切な方法で処理されることを強く願います。



## ～風景画～

岡山東支部 (株)石原工務店 石原 孝

私は一時期、体調を崩し入院していました。

その時に病室から見える風景を鉛筆でスケッチしてから、絵を描くことが増えていきました。

私が描く絵は、仕事柄という事もありますが、地元西大寺の建物や建造物を多く描いています。

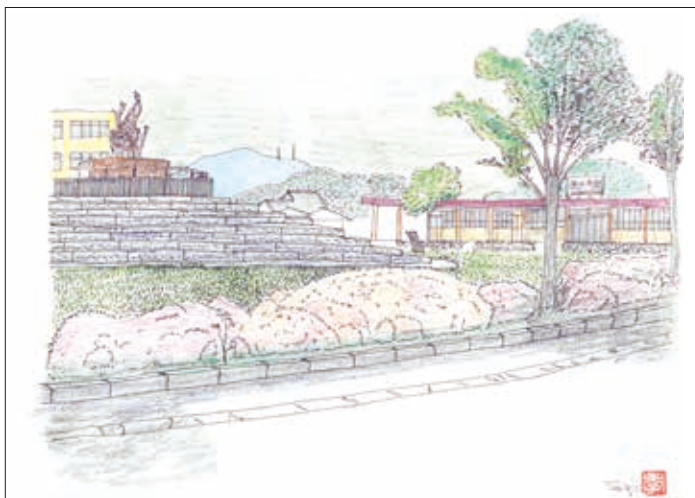
たまに孫にせがまれ、キャラクターを描いたりもしています。

体調が回復した今では、現場の巡回時や休日の散歩をしている時に描き、欲しいと言って頂くお客様には施工前の状態の絵等をプレゼントもしています。

載せているのは西大寺近辺の絵になります。

西大寺駅や古民家(お客様)、昭和の面影を残す五福通りです。

これからも元気に動けるうちは描き続けたいと思っています。





岡山西支部

人と環境を育み、豊かな未来づくりに貢献します。



家屋、店舗など幅広く  
解体工事を行っています。

新築現場や企業様、一般家庭  
から排出される、様々な廃棄物  
を収集運搬しています。



世の中に不要物として排出され  
る物、解体工事により排出され  
る廃棄物を資源化し、より良い  
環境づくりを目指している会社  
です。

**株式会社インテックス 代表取締役 金山 昇司**

本社所在地 〒701-0221 岡山県岡山市南区藤田1438-10 TEL.086-250-7800 (代) FAX.086-250-7888  
 中間処分場 〒701-0221 岡山市南区藤田1438-8 TEL.086-296-3387

# 有限会社 吉美

## 有限会社 吉備環境設備

**住 所** 岡山県岡山市北区大内田1367番地1

**設 立** 昭和44年11月(吉美) ※旧社名：吉美衛生センター  
昭和53年 2月(吉備環境設備)

**代表者** 代表取締役 石原 恵一、石原 慎祐

**TEL** 086-293-1052(吉美) 086-293-0524(吉備環境設備)



今回は当社での取り組みをご紹介します。今回は当社での取り組みをご紹介します。

当社では交通事故および労働災害を1件でもなくするため、年に一度「グループ会社の交通事故・労働災害防止重点目標」を作成しています。

年に一度、従業員より標語を募集し、これまでの事故の傾向などをもとに標語を作成します。その標語を社内に掲示し、毎日の朝礼時に社員

全体に伝えています。

その他にも「KY(危険予知)活動」を行い、季節に応じた注意喚起(例：冬のスリップや転倒など)を行い、『交通事故・労働災害ゼロ』を目指して活動しています。

また月に一度、社内会議の場で、「交通安全講習会」を実施し、道路交通法をはじめとした法律改正のポイントや、運転での注意点を私達経営者を含めて社員全体に伝えています。



交通事故はもちろんですが、労働災害も発生してしまえば会社の業務に大きな支障をきたす場合があります。バリケードを設けるなどの物理的な安全対策を行うことと同時に、社員一人ひとりの意識を変えてもらう必要が大切だと思っています。社員が安心・安全に業務に集中してもらうめにも、小さな取り組みから災害ゼロを今後も目指していきたいと思っています。

## 新入会員の紹介コーナー（令和4年10月～令和5年1月）

### 金山株式会社

代表取締役 金山 義隆  
〒701-0221 岡山市南区藤田234-8  
電話086-259-0632 FAX.086-250-8626  
収集運搬業【岡山西支部】  
令和4年12月1日入会

### 株式会社Kコーポレーション

代表取締役 栗栖 祥平  
〒710-0142 倉敷市林185-6  
電話086-454-6626 FAX.086-454-6627  
収集運搬業【倉敷南支部】  
令和4年12月1日入会

よろしくお願いいたします

## 令和5年4月1日、協会名称が変わります！

今年4月1日から協会名称が「一般社団法人岡山県産業廃棄物協会」から「一般社団法人岡山県産業資源循環協会」に変わります。

事務局では名称変更に伴う準備を進めていますが、ご迷惑をお掛けする場合があります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年4月1日から

## 一般社団法人岡山県産業資源循環協会

会長 大塚 雅司

〒701-1152 岡山市北区津高628-6

電話 086-254-9383 FAX 086-254-8766

メールアドレス info@okayama-junkan.or.jp

ホームページアドレス <https://okayama-junkan.or.jp/index.html>

### 名称変更後も変わらないもの

- ・協会の住所
- ・協会の電話番号、FAX番号
- ・協会のメールアドレス
- ・協会のホームページアドレス など

### 名称変更に伴い変わるもの

- ・協会事務所の看板
- ・協会発送文書の番号「岡産資協第〇号」
- ・協会ホームページのリニューアル
- ・会員証 など

令和5年5月27日(土)

通常総会及び設立30周年記念式典を開催します。

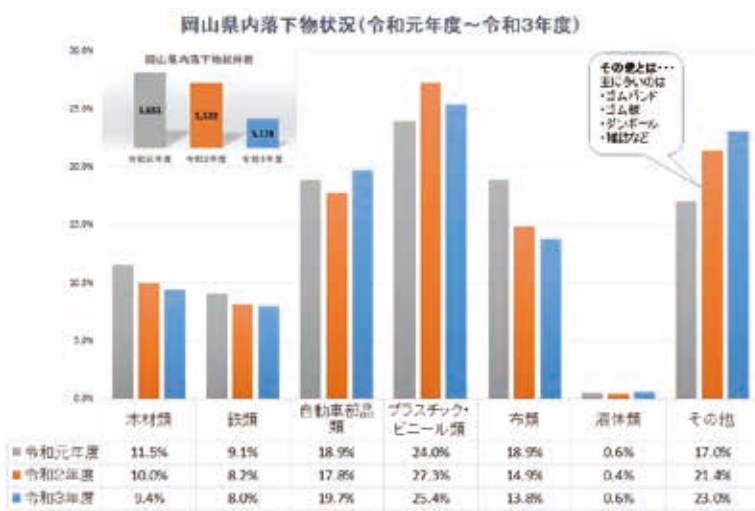




高速道路等を走行している際に落下物を見つけたことはありませんか？

岡山県内の高速道路では令和3年度に5,128件の落下物を確認しています。(※当社調べ)

一番多い分類としては軽くて飛びやすいプラスチック・ビニール類で、次にその他を除くとバーストなどで破損したタイヤなどを含む自動車部品類となっています。



このような落下物などへ乗り上げたり、巻き込んだり、避けようとして事故を起こしてしまったら、せっかくの貴重な時間が台無しになってしまうとともにお客様の車両に損傷が生じるかもしれません。

また、路肩等に停止した際に後続の車両が突入する事故も発生しています。

そのような悲しい出来事を少しでも減少させるために早期通報のご協力をお願いします。

## 通報方法の紹介



積荷の落下により他のお客様に対し損害を与えた場合は、落とし主が責任を問われますので、出発前点検の実施をお願いします。



写真提供：東備支部 松本公子

### 備前焼の干支

備前焼は古墳時代の須恵器(すえき)の製法がルーツといわれ、鎌倉時代～桃山時代にかけたような形に落ち着いた。堅くて割れにくいので、多くの茶器や茶陶として愛用され、置物などもつくられ庶民の日用品として大人気。干支の備前焼も数多くつくられている。

## 編集後記

今年はうさぎ年。

漢字では兎年と思ったら、卯年と書くようです。

思い込みで判断しがちですが、今の時代、思い込みをしていたら思いがけないことで状況が一変します。

そういった意味で、変化にすばやく対応し判断を正確にする時代ともなりました。

対応力で今年一年をしあわせな年にしていきましょう。

(by 033)

## 会報・くりーん岡山第66号

令和5年1月31日発行

発行 一般社団法人岡山県産業廃棄物協会

〒701-1152岡山市北区津高628-6

TEL086-254-9383 FAX086-254-8766

編集 総務広報委員会

印刷 萌友出版



**株式会社西日本アチューマツトクリーン**

代表取締役会長

**藏本忠男**

代表取締役社長

**藏本悟**

〒七〇三―八二四五

岡山市中区藤原五〇―一

電話 〇八六―二七二―八〇四二

FAX 〇八六―二七一―一〇五〇

**株式会社高谷建設**

代表取締役

**高谷耕治**

〒七一一―〇九三六

倉敷市児島柳田町二三二六―四

電話 〇八六―四七三―三六二四

FAX 〇八六―四七二―六二七三

**タマタイ産業株式会社**

代表取締役

**大塚雅司**

〒七〇〇―〇九三五

岡山市北区神田町二―一―二五

電話 〇八六―二二四―三二九一

FAX 〇八六―二二三―六三五四

**新岡山陸運株式会社**

代表取締役

**木下聖士**

〒七〇二―八〇〇五

岡山市中区江崎七四六―三

電話 〇八六―二七六―一一一一

FAX 〇八六―二七六―二二六六

**賀正**



**エコシステム山陽株式会社**

代表取締役

**山田耕司**

〒七〇八―一五二三

久米郡美咲町吉ヶ原一一二五

電話 〇八六八―六二―一三四六

FAX 〇八六八―六二―一三四五

**株式会社野崎運輸機工**

代表取締役

**野崎剛正**

〒七〇四―八一九四

岡山市東区金岡東町二―一四―三三

電話 〇八六―九四二―三三八一

FAX 〇八六―九四三―七九二七

**牛窓港湾運輸株式会社**

代表取締役

**田中大一**

〒七〇一―四三〇一

瀬戸内市牛窓町長浜四九五九―二

電話 〇八六九―三四―四九七八

FAX 〇八六九―三四―四一五五

**株式会社日本資源開発社**

代表取締役

**林 大悟**

〒七〇九―〇六〇七

岡山市東区浦間一―〇二

電話 〇八六―二九七―二二二八

FAX 〇八六―二九七―二三一四

## 有限会社 岡一総業

代表取締役 頼 礼

〒七〇三―八二六六

岡山市中区湊一三六三―一八

電話 〇八六―二七四―五七三九

FAX 〇八六―二七四―〇五八二

## 株式会社 石原工務店

代表取締役会長 石原 孝

代表取締役社長 石原 彰二

〒七〇四―八一九三

岡山市東区金岡西町八〇―一一

電話 〇八六―九四二―五一五一

FAX 〇八六―九四二―一五九五

## アサヒプリテック株式会社

代表取締役 中西 広幸

〒七〇四―八一九三

岡山市東区金岡西町一一五七―一

電話 〇八六―九四八―四一七〇

FAX 〇八六―九四八―四一八二

## 明和建設株式会社

代表取締役 黒田 正義

〒七〇九―〇六三一

岡山市東区東平島一三九七

電話 〇八六―二九七―三七三七

FAX 〇八六―二九七―四七二二



## 新岡山開発株式会社

代表取締役 塚原 義人

〒七〇三―八二七一

岡山市中区円山一五〇

電話 〇八六―二七七―五五七七

FAX 〇八六―二七六―二二六六

## 泉建設株式会社

代表取締役 泉 正昭

〒七〇二―一八〇―一三

岡山市南区飽浦一二六

電話 〇八六―二六七―五三三三

FAX 〇八六―二六七―五三三四

## 有限会社 片岡久工務店

代表取締役 片岡 重治

〒七〇二―一八〇―三三

岡山市南区福富東二―一七―一三

電話 〇八六―二六三―二〇一〇

FAX 〇八六―二六三―二四六八

## 株式会社 岡清組

代表取締役 藤井 武士

〒七〇〇―〇八六六

岡山市北区岡南町二―五―七

電話 〇八六―二三三―七二三〇

FAX 〇八六―二二六―〇一一三



## 岡山磁油株式会社

代表取締役 細羽 剛史

〒七〇二一八〇四五

岡山市南区海岸通二一六―一三

電話 〇八六―二六四―六八六六

FAX 〇八六―二六四―六八六七

## 栄光テクノ株式会社

代表取締役 堀川 英治

〒七〇〇一〇九四三

岡山市南区新福二一七―二〇

電話 〇八六―二六五―一二三四

FAX 〇八六―二六五―七七二二

## 有限会社 井上設備

代表取締役 井上 實

〒七〇二一八〇二四

岡山市南区浦安南町五八四―三

電話 〇八六―二六三―八七四五

FAX 〇八六―二六三―八四六四

## トラスト・クリーン株式会社

代表取締役 室山 宣英

〒七〇〇一〇九四一

岡山市北区青江四―二二―二〇

電話 〇八六―二五九―五五八八

FAX 〇八六―二五九―五五七七

# 迎春



## 株式会社 中国住宅工業

代表取締役 奥村 奈巳

〒七〇一〇一〇三二

岡山市北区花尻みどり町五―一〇七

電話 〇八六―二五五―九〇〇〇

FAX 〇八六―二五五―九〇〇三

## 安田産業株式会社

代表取締役社長 安田 猛

〒七〇二一八〇三六

岡山市南区三浜町一―一―一八

電話 〇八六―二六三―三〇六一

FAX 〇八六―二六三―三〇二九

## 株式会社 フミタ組

代表取締役 文田 相律

〒七〇二一八〇一一

岡山市南区郡一二七―二―四

電話 〇八六―二六七―二五〇七

FAX 〇八六―二六七―三一一一

## 株式会社 西日本マックス

代表取締役 金山 昇司

〒七〇二一八〇一一

岡山市南区郡三〇〇番地

電話 〇八六―二六七―九九五五

FAX 〇八六―二六七―九九七七

## 中野開発株式会社

代表取締役 中野貞治

〒七〇一―二二四二  
岡山市北区玉柏七五  
電話 ○八六―二二九―二三一六  
FAX ○八六―二二九―三一七五

## 田村碎石工業株式会社

代表取締役 田村啓二

〒七〇九―二一〇七  
岡山市北区御津矢原二八五―二  
電話 ○八六―七二四―〇七一五  
FAX ○八六―七二四―一四三三

## キョクトウ有限会社

〒七〇九―〇八六一

岡山市東区瀬戸町瀬戸六四六  
電話 ○八六―九五二―〇三八四  
FAX ○八六―九五二―一九七七

## 有限会社 吉美

代表取締役 石原恵一

〒七〇一―〇一六五  
岡山市北区大内田一三六七―一  
電話 ○八六―二九三―一〇五二  
FAX ○八六―二九二―二〇二〇

## 株式会社 相和建設

代表取締役 光森敏文

〒七〇一―一五三三  
岡山市北区富原五一八―一  
電話 ○八六―二五三―一〇〇〇  
FAX ○八六―二五五―〇〇〇〇

## 有限会社 和気環境サービス

代表取締役 松本公子

〒七〇九―〇四二一  
和気郡和気町日室一三九  
電話 ○八六九―九三―〇四七三  
FAX ○八六九―九三―一五五六

## 小野建設株式会社

代表取締役 小野勝己

〒七〇一―二二〇五  
岡山市北区佐山一三六四―三  
電話 ○八六―二八四―七一六一  
FAX ○八六―二八四―六八五四

## 妹尾産業有限会社

代表取締役 畑 貞夫

代表取締役 畑 英男

〒七〇一―〇二〇六  
岡山市南区箕島一三〇六―二六  
電話 ○八六―二八二―〇五二一  
FAX ○八六―二八二―〇六四七

## 株式会社 デベロップ岡山

代表取締役 田口 勝

〒七〇一―〇二二三  
岡山市南区中畦一一一八―三  
電話 ○八六―二九八―三一二五  
FAX ○八六―二九八―二九二七



## 株式会社フルカワ商事

代表取締役 古川悦生

〒七二〇〇八三五

倉敷市四十瀬三四三―三

電話 ○八六―四二四―八〇二〇

FAX ○八六―四二七―三六九九

## 水島エコワークス株式会社

代表取締役社長 藤井和夫

〒七二二一八〇七四

倉敷市水島川崎通一―一四―五

電話 ○八六―四四七―三二五五

FAX ○八六―四四七―三二五七

## 倉敷企業株式会社

代表取締役 井上正士

〒七二〇〇八四二一

倉敷市吉岡二九三―一

電話 ○八六―四二四―六四二九

FAX ○八六―四二一―九一九〇

## J&T環境株式会社 倉敷営業所

所長 阪井英明

〒七二二一八〇〇六

倉敷市連島町鶴新田二一七七―一

電話 ○八六―四四七―〇〇八一

FAX ○八六―四四七―〇〇八二

## 山陽美業株式会社

代表取締役 室山晃一

〒七二〇〇八二二六

倉敷市老松町二―一三―三〇

電話 ○八六―四三四―三五〇〇

FAX ○八六―四二二―一三三一

## 協同組合倉敷市環境保全協会

代表理事 岡井智之

〒七二〇〇〇三三八

倉敷市新田二三二二―一八

電話 ○八六―四二二―七三七一

FAX ○八六―四二一―五四二七

## NIK環境株式会社

代表取締役 佐藤真一

〒七二二一〇九〇七

倉敷市児島上の町一―九―六七

電話 ○八六―四七二―一八二八

FAX ○八六―四七三―二一一七

## 内田工業株式会社

代表取締役 内田航

〒七二二一八〇五二

倉敷市松江三―二―四六

電話 ○八六―四五六―五八八八

FAX ○八六―四五六―四五五二

## 株式会社ビーシー工業

代表取締役 富本泰司

〒七二二一八〇五一

倉敷市中畝九―一―三七

電話 ○八六―四五六―三四二一

FAX ○八六―四五六―五八四三

### 坂川建設鋳業株式会社

代表取締役 坂川 晃一

〒七二四―一四〇五  
井原市美星町字戸一〇五五  
電話 ○八六六―八七―二六二六  
FAX ○八六六―八七―二六二七

### 株式会社 平松運輸

代表取締役 平松 敬史

〒七二六―〇二〇七  
高梁市川上町仁賀六二七  
電話 ○八六六―四八―三五八八  
FAX ○八六六―四八―三二六一

### 株式会社 三美産業

代表取締役 妹尾 芳訓

〒七二六―〇二〇三  
高梁市川上町三沢四三四二―二  
電話 ○八六六―四八―二八七八  
FAX ○八六六―四八―二八七九

### 株式会社 アースクリエイト

代表取締役 三好 員弘

〒七二四―一二二五  
小田郡矢掛町中一七〇  
電話 ○八六六―八二―三〇三一  
FAX ○八六六―八二―三四〇〇

### 有限会社 おがわ商店

代表取締役 小川 卓史

〒七二四―〇〇八一  
笠岡市笠岡一五〇七  
電話 ○八六五―六三―二〇九四  
FAX ○八六五―六三―二〇九九

### 山陽興産株式会社

代表取締役 大本 修身

〒七二六―〇〇四五  
高梁市中原町一五四二―六  
電話 ○八六六―二二―一〇三五  
FAX ○八六六―二三―一三二六

### 福栄産業株式会社

代表取締役 田中 康浩

〒七二二―八〇五五  
倉敷市南畝六―八―四一  
電話 ○八六―四五―六二四七  
FAX ○八六―四五―六一一七〇

### 株式会社 日住

代表取締役 高橋 克実

〒七一九―〇二五四  
浅口市鴨方町六条院東五〇九  
電話 ○八六五―四四―七八八八  
FAX ○八六五―四四―六五一三

### 山陽環境開発株式会社

取締役会長 岩元 博

代表取締役社長 岩元 達也

〒七二八―〇〇〇三  
新見市高尾二三〇四―一  
電話 ○八六七―七二―五四一五  
FAX ○八六七―七二―一七八〇



## 株式会社 フクイクリーン

代表取締役 上杉有梨

〒七〇七―〇〇二四

美作市楢原下一四五

電話 ○八六八―七二―一一一九

FAX ○八六八―七三―〇四五五

## 末沢建設株式会社

代表取締役 末澤由博

〒七〇八―一一二二六

津山市押入一二一九―七

電話 ○八六八―二六―一一七三

FAX ○八六八―二六―一一七二

## 株式会社 新岡山工業

代表取締役 田口孝利

〒七〇八―一五二三

久米郡美咲町吉ヶ原字稲千一〇四八―二

電話 ○八六八―六二―二七七五

FAX ○八六八―六二―二七七六

今年もよろしく  
お願い申し上げます

## 坂田碎石工業株式会社

代表取締役 近堂申洋

〒七〇九―三六三二

久米郡久米南町山手六四五

電話 ○八六―七二八―二八一―

FAX ○八六―七二八―二四六〇

## エコシステムジャパン株式会社

代表取締役 増山仁志

〒七〇八―一五二三

久米郡美咲町吉ヶ原一〇四八―二

電話 ○八六八―六二―一三四一

FAX ○八六八―六二―一三四〇

## 株式会社 廃棄物センター

代表取締役 河原 淳

〒七〇八―〇〇一三

津山市二宮八七〇

電話 ○八六八―二八―二〇五一

FAX ○八六八―二八―二一四八

## 竹藤建設株式会社

代表取締役 竹藤健太郎

〒七一九―三三〇一

真庭市久世二九二〇―一一二

電話 ○八六七―四二―一一一〇

FAX ○八六七―四二―五〇二七





第一東洋株式会社は昭和54年に設立し、日立建機・クボタ建機機  
VOLVO建設機械・HYDREMA・スチールリスト特約店として国内外各社の  
建設機械、部品等の販売、修理、レンタルを手掛けています。  
昨今ではSDGsにも取り組み、環境に配慮した車輛の販売や新事業として  
フロンガスの回収など地球環境の保全活動も行っています。

DAIICHI  
**Toyo** 第一東洋株式会社

<https://daiichi-toyo.co.jp>

本 社

〒701-0202 岡山県岡山市南区山田2117-65  
TEL:086-282-0141 FAX:086-282-8352

真庭営業所

〒719-3143 岡山県 真庭市下市瀬 567-5  
TEL:0867-52-5847 FAX:0867-52-5846





# NAKANOKAIHATSU

NAKANOKAIHATSU CO., LTD.